

令和８年度岡山県「スマート農業技術開発プラットフォーム」における
コンソーシアム活動の実施について

令和８年４月
産学連携推進課

県では、本県の強みであるもの作り企業と大学など関係機関により「スマート農業技術開発プラットフォーム」を設置するとともに、コンソーシアム（共同研究体）の構築を推進しています。

令和８年度においては、次のとおり野菜（いちご）に関するコンソーシアムを構築するとともに、その活動を支援することで、生産現場における課題解決を目指します。

区 分		コンソーシアム①
作 目		いちご
課題名		いちごの選果・パッキングラインの開発
活動の場所		岡山市内
事業の目的		いちご農家がＡＩによる選別システムを取り入れることで、確実な選別と作業の省力化につながることから、当社が持っているＡＩを用いた果物・野菜収穫用空間センサーを活用し、岡山県のいちごの等級別の果実選別が可能な装置を開発する。
コンソーシアム 構成員		・（株）ビジュアルサーボ ・全農岡山県本部 ・ＪＡ岡山いちご部会 ・岡山県（備前広域農業普及指導センター、備前県民局農畜産物生産課、農産課、岡山県農林水産総合センター）
参 加 企 業 の 概 要	企業名	株式会社ビジュアルサーボ
	所在地	備前市日生町
	業種	一般機械器具製造業
	現有技術 (シーズ)	ＡＩを用いた果物・野菜収穫用空間センサー